

八丈島 水産だより

3月号
2018



フリージア



登龍峠より

寒い冬の終わりを告げるように、強く暖かい南風が吹くようになりました。さて八丈島には、全体を眺めることのできる見晴らしの良いスポットが多くあります。その一つが新東京百景にも選ばれている「登龍峠」からの展望です。八丈富士や坂下地域が一望できる場所で、天気がよい日には三宅島が見えることもあります。これからフリージアやオオシマザクラの花が咲き始め、春の八丈島を彩ります。

さいきん りょうもよう

■ 最近の漁模様

2月中は海水の温度が低く、暖かい場所を好むトビウオはなかなか島の近くで見られませんでした。ただ3月に近づくと水温も上がり、徐々に水揚げ量も増えてきています。また最近ではマカジキが釣れています。大型の魚で陸へ引き上げるのに機械を使うこともあります。赤身でマグロに似た味がするため、刺身が美味しいです。



マカジキ



トビウオ



マカジキの刺身用さく

ぎよせん

■ 漁船について



船着き場



ひき縄船

メンテナンス



漁船は漁師さんにとって一番大切な仕事の相棒です。八丈島には100隻以上の漁船があり、それぞれ「〇〇丸」のような船名がついています。漁船の形やデザインは1隻ずつ異なり、狙う魚によって備えている道具も変わってきます。島の漁船にはひき縄漁を行うため、縦と横に大きく伸ばせる竿をつけていることが多いです。また船が安全で速く走れるように、時折陸上へ揚げて船底についた貝や海藻を取るなどメンテナンスを行います。